宇佐市

高潮ハザードマップ

③和間・北馬城・封戸校区

高潮ハザードマップとは

「宇佐市　高潮ハザードマップ」は、水防法に定められた想定される最大規模の高潮による浸水想定結果に基づいて、浸水する範囲や、避難場所などを示した地図です。

ご使用上の注意事項

- このマップは、過去最大規模の昭和9年室戸台風と昭和34年伊勢湾台風規模の台風が襲来し満潮と重なった場合の高潮を想定しています。
- このマップで示している浸水想定区域以外でも浸水する可能性があります。また、実際の浸水深は想定最大浸水深よりも深くなる場合があります。

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印を付けてみましょう。

色が塗られていれば最大浸水深を確認して、どのような避難行動をとるかあらかじめ決めておきましょう。

ハザードマップで最寄りの避難所を複数探しておきましょう。

我が家の避難先

※市が開設する避難所だけが避難先ではありません。安全な地域にある親戚・知人宅やホテルも避難先の一つです。

発行　宇佐市危機管理課　防災係　　TEL. 0978-27-8111　FAX. 0978-27-8234

2022年3月発行

日頃の備え

高潮の被害から身を守るには、情報を正しく認識しておくことが重要です。自らの命を守るために日頃から次の内容を注意しておきましょう。

1 自宅・勤務地などの高潮の危険性を把握

予め、過去の災害を知り、高潮ハザードマップなどにより、自宅や勤務地周辺の危険性を把握しておきましょう。また、万が一高潮による浸水被害が発生した場合に、どのような状況が予想されるかについても把握しておきましょう。

2 避難所・避難経路の確認

災害時の避難先は、市が開設する避難所だけではありません。
安全な地域にある親戚宅やホテルなども避難先の一つです。日頃からどこに避難するのか家族で話し合って考えておきましょう。そして、避難先までの経路を実際に移動してみて、危険な箇所を把握しておくことが重要です。

3 非常用持ち出し袋の用意と家庭での備蓄

災害が発生し、避難するときに備え、非常用持ち出し袋に生活に必要な物を準備しておきましょう。また、災害により物流に影響が出ることも考え、家庭でも普段から備蓄食料を3日分(できれば一週間分)準備しておきましょう。
例:食料、水、常備薬、衛生用品、簡易トイレ等

4 風の強さが避難に与える影響

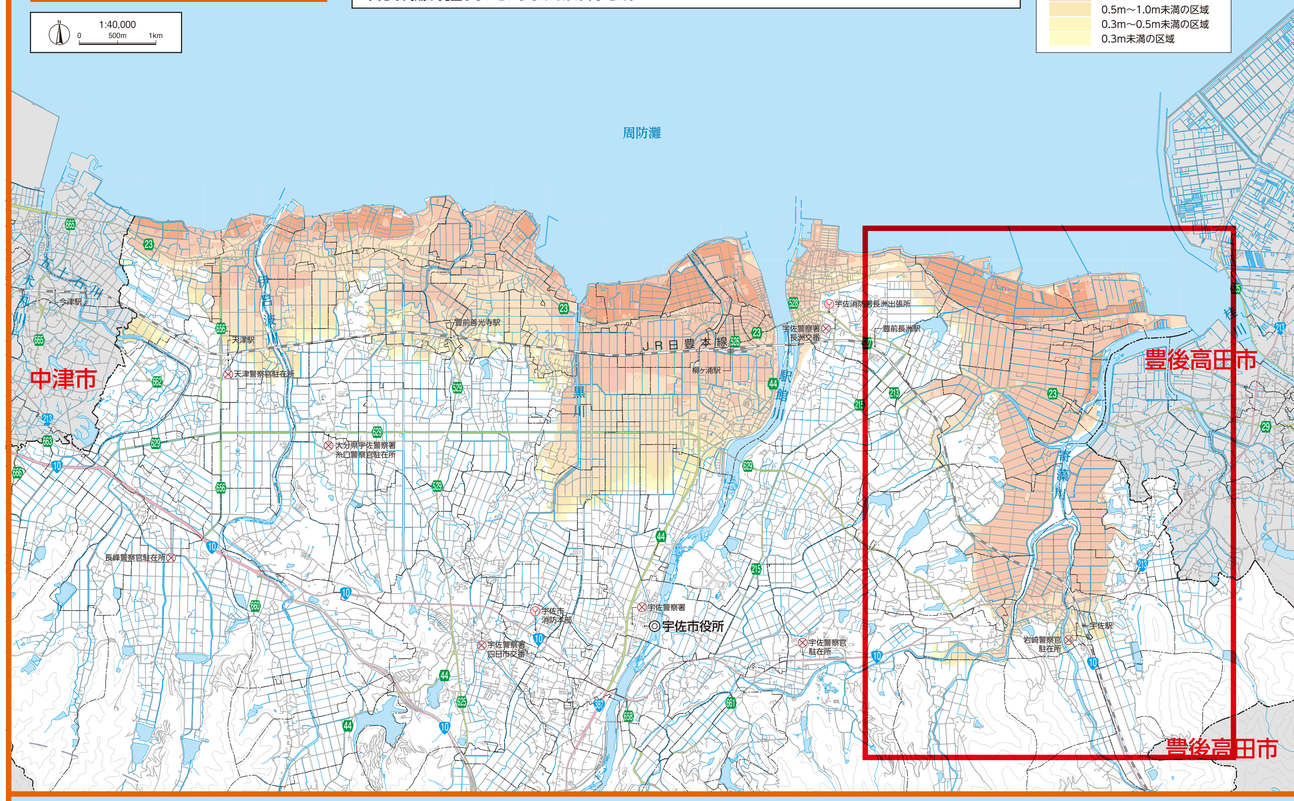
風の強さ(予報用語)	平均風速	
やや強い風	10m/s以上15m/s未満	風に向かって歩きにくくなる。高速運転中では横風に流される感覚を受ける。
強い風	15m/s以上20m/s未満	風に向かって歩けなくなり、転倒する人もいる。高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。
非常に強い風	20m/s以上25m/s未満	何かにつかまっていないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。通常の速度で運転するのが困難になる。
非常に強い風	25m/s以上30m/s未満	屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。
猛烈な風	30m/s以上	多くの樹木が倒れる。ブロック塀や住家が倒壊するものがある。

宇佐市全域 浸水想定区域図

○この高潮ハザードマップは、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される浸水の深さを示したものです。
○この図に示してある水深は、最大クラスの高潮を想定し複数のケースでシミュレーションし、その結果から、各地点で最大となる値を示しています。予測結果には誤差が存在するほか、再現できない現象もあります。
○最大クラスの高潮は、現在の科学的知見を基に、過去において実際に発生した台風や高潮から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。

凡　例
浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

1:40,000　0　500m　1km

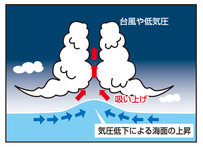


高潮のメカニズム

高潮は増水の速度が速く、満潮時刻はもちろん、満潮時刻の前後数時間は、潮位が短時間のうちに異常に上昇することがあります。台風が接近している時は十分に注意しましょう。

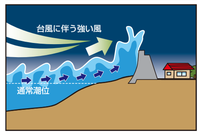
1 高潮が発生する仕組み

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により、海面が異常に高くなる現象です。高潮が発生するとその高い潮位と波浪・強風により、海水が堤防を越えるようになり、沿岸部が浸水する可能性が高くなります。
また、高潮が発生している海域に流れ込む河川があれば、高い潮位や波浪により河川の流れが阻害されます。そのため、川沿いで氾濫が発生し、海岸から離れた内陸部にまで被害を及ぼすこともあります。



❶ 吸い上げ効果

台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。気圧が1hPa低下すると海面は1㎝上昇します。例えば、950hPaの台風が接近すると、1000hPaだった時より50㎝海面が上昇します。



❷ 吹き寄せ効果

台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。吹き寄せ効果は風速や海岸の状況により大きく異なり、V字型の湾の奥ほど高くなります。

2 高潮で気をつけるべきこと

高潮発生時は、安全な高台へ避難することが原則ですが、外に出ない方が安全な場合もあります。大事なのは、その場所の想定される浸水の深さなどを事前に調べ、どのような避難行動をとるか決めておくことです。平屋建てやマンションの1階に住んでいる方は、浸水の高さが2mを超えると避難は必須です。生命に危険が及ぶかどうかは、この高潮による浸水深によって大きく異なります。
あなたの自宅は高潮の浸水想定区域に入っていますか？ 浸水深は何mですか？ 命を守る最善の行動は事前の備えから始まっています。

3 高潮注意報・警報の基準となる潮位

高潮注意報　：潮位　2.1m
高潮警報　　：潮位　3.1m
高潮特別警報：数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮となると予想される場合

高潮に関する情報入手

●気象警報・注意報(気象庁)
https://www.jma.go.jp/jp/warn/346_table.html

4 過去に発生した高潮災害

過去にも、昭和9年の室戸台風や昭和17年の周防灘での台風、また昭和34年の伊勢湾台風などの大型の台風に伴い、高潮による大きな被害が発生しています。

避難に関する情報

気象情報(気象庁より)

気象状況	気象庁の情報		住民の行動
台風最接近の数日前	警報級の可能性		●気象情報やハザードマップを確認 ●避難場所や避難ルートを確認
台風最接近の約1日前	強風注意報	高潮注意報	●最新の情報を把握して、災害に備えて早めの準備を ●気象庁から発表される潮位予測を確認 ●夜間に高潮警報が発表される可能性が高い場合は、早めに避難行動をとるようにしましょう。
台風最接近の1日～半日前			
暴風域に入る数時間前	暴風警報 又は 暴風特別警報		
暴風域に入る			●宇佐市からの避難指示などの情報に留意して、速やかに避難しましょう。 ●暴風警報が発表された場合は、外出が困難となる場合があるため、早めに避難することが重要となります。
台風最接近 数時間前		高潮警報 又は 高潮特別警報	
台風最接近 高潮となる			
高潮による浸水が発生			(ポイント) ●暴風や高潮による浸水が発生してからの避難は危険です。この状況になる前に安全な場所に避難を完了しておく意識で行動することが大変重要です。

避難情報(宇佐市より)

※台風や潮位などの状況に応じて発令します

	【警戒レベル3】 高齢者等避難	【警戒レベル4】 避難指示	【警戒レベル5】 緊急安全確保
発令時の状況	災害が発生するおそれがある状況	災害が発生するおそれが高い状況	災害が発生または切迫している状況
行動の目安	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険!直ちに安全確保!

情報収集

大分県では気象情報や防災情報を無料で確認できるアプリを整備しています。宇佐市からの災害情報も配信いたします。外国の方は多言語で情報確認ができます。また、視覚障害のある方は「宇佐市からの緊急情報」を音声で確認できます。ぜひご利用ください。

おおいた防災アプリのダウンロードはこちらから　App Store　Google Play

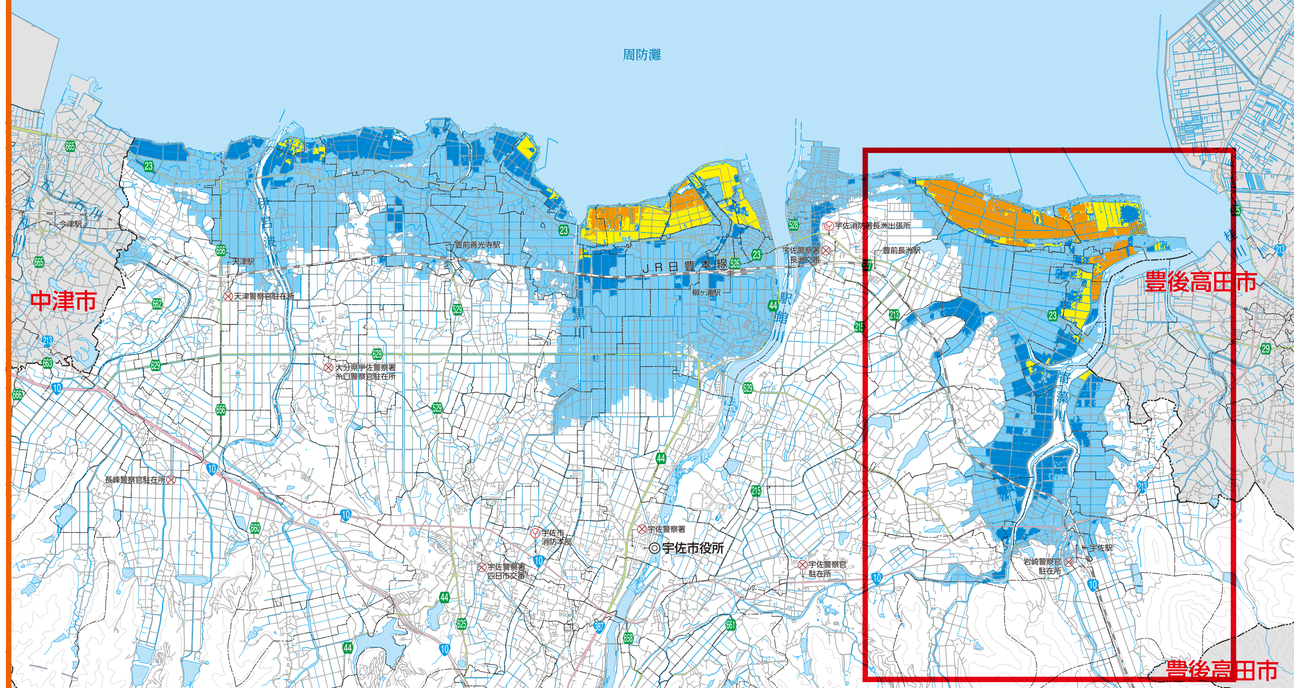
大分県公式
おおいた防災アプリ

防災情報・お知らせ	避難所等検索	道路規制情報	安否登録・安否確認
避難情報や気象情報など、最新の防災情報を表示します。	現在地周辺の避難所等を自動検索して地図上に表示します。	道路規制情報やライブカメラの情報を表示します。	現在地から安否登録ができます。登録されている人の安否確認ができます。

アプリに関するご不明点は下記までお問い合わせください。
大分県 生活環境部 防災局 防災対策企画課　☎097-506-3155

宇佐市全域 浸水継続時間

○この高潮ハザードマップは、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域、浸水継続時間を示したものです。
○浸水継続時間とは、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間です。ここで50cmは、高潮時に避難が困難となり孤立する可能性のある水深として設定しています。なお、一旦水が引いて50cmを下回った後、満潮等により再度浸水して50cmを上回った場合は、最初に50cmを上回ってから最終的に50cmを下回るまでの通算の時間としています。緊急的な排水対策等は考慮していないので、目安としての活用に留意してください。
○この図に示してある浸水継続時間は、最大クラスの高潮を想定し複数のケースでシミュレーションし、その結果から、各地点で最大となる値を示しています。予測結果には誤差が存在するほか、再現できない現象もあります。
○最大クラスの高潮は、現在の科学的知見を基に、過去において実際に発生した台風や高潮から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。

凡　例
浸水継続時間(浸水深0.5m以上)(ランク別)
- 3日以上の区域
- 1日～3日未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 12時間未満の区域

1:40,000　0　500m　1km